



## 令和2年度卒業式を挙行了しました

令和2年度卒業式を3月5日(金)に本校中央教育棟大講義室で挙行し、教育部農学科89名が本校を巣立って行きました。



[呼名され順番に起立する卒業生]

当日は、新型コロナウイルス感染症対策のため、式場への保護者の入場を御遠慮いただき、YouTubeによるライブ配信を行いました。

さらに昨年に引き続き、式典の時間短縮、来賓の縮小、換気、マスクの着用などの対策を実施しました。

卒業生は、専攻実習や農家派遣実習、プロジェクト活動、体育祭、農大祭、学生寮での生活など、2年間の農大での生活の様々な思い出を胸に卒業式に臨んでいました。

式典では、卒業生全員の名前を呼名し、堤校長から卒業生総代の平野龍明さんに、卒業証書が授与されました。



[卒業証書を受け取る総代の平野龍明さん]

成績優秀者や実習等に精励した者に対して県知事賞や大学校長賞、全国団体などの表彰を行い、17名の学生が受賞しました。その後、校長式辞に続いて、県知事代理の金沢農業水産局技監と柴田同窓会長から御祝辞をいただきました。



[堤校長の式辞]

続いて、在校生代表として、次期学生会長の切花専攻の鈴木結子さんが卒業生へ感謝の気持ちを込めて送辞を述べ、卒業生を代表して、養豚・養鶏専攻の諏訪江厘さんが2年間の思いながら答辞を行い、卒業式は閉式となりました。



[答辞を述べる諏訪江厘さん]

卒業式終了後は、例年、学生会が主催する卒業パーティを開催していましたが、新型コロナウイルス対策のため、卒業生・在

校生が一堂に会することができず、短い時間でしたが、専攻別で、企画を実施したり、思い出を語り合ったりしました。

卒業生には、本校で学んだ知識や経験を活かし、新たな環境でも思いっきり活躍して欲しいと思っています。

(学務科 伊藤 正美)

## 令和2年度就職活動の総括

本校では、1年生に対する5回の進路セミナーの開催や、模擬面接会を実施するなど就職活動を支援しています。進路セミナーでは、ハローワークの学卒ジョブサポーターや面接マナーの専門家を講師に、就職活動の取り組み方法や労働法の基礎知識、就職活動における面接の要点などの講義や演習を行います。こうした進路指導で1年生のうちに就職活動の知識を身に付け、2年生になるとすぐに始まる就職活動に備えます。

令和2年度の進路決定者の割合は、夏休み前が約3割とスローペースで進みました。夏休み明けからは就職活動にエンジンがかかり冬休み前には85%に達しましたが、最終的な進路決定率は89%と昨年の97%を下回りました。進路決定率が下がった一つの原因は、就職や進学で浪人しても自分の希望を曲げたくないという学生が多かったため、当校の学生に限っては新型コロナウイルスの影響はほとんどなかったと考えています。

一方、令和2年度の企業、農業法人等からの農学科学生に対する求人数（令和3年3月卒業生対象）は、昨年と同じ128社（県内79社、県外49社）でした。

依然として高い求人が続いていると見えますが、最も多かった平成29年度の167社と比べると4分の3近くまで減少しています。（図-1）。

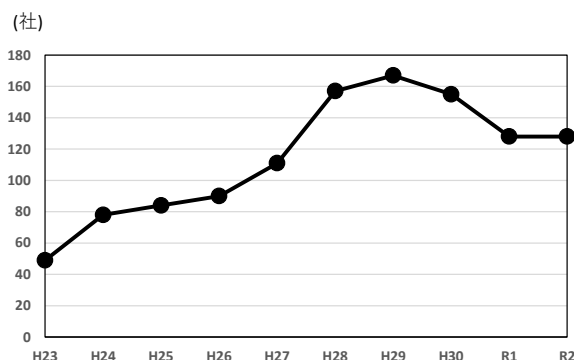


図-1 農大への求人数の推移

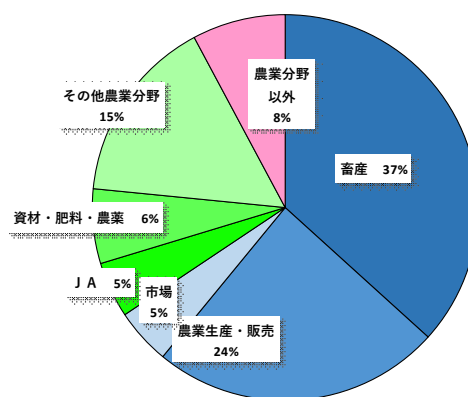


図-2 分野別求人割合 (R2)

減少の主な要因は、農業法人等からの求人が減少しているため、農業法人の採用が一巡したことで求人を見合わせていることなどが背景にあると思われます。

(農学科 横井 信之)

## 令和2年度卒業生の進路について

令和2年度農学科卒業生89名の進路の内訳は、表-1のとおりです。

卒業後直ちに親元就農した者は12名、農業法人へ就職就農した者は17名で、即就農者は合計で29名(全体の33%)でした。

なお、今後就農する予定の者(国内外での研修後に就農する者及び一次就職後に就農する者)も加えた就農者数は43名(同48%)となりました。

今年度の進路の特徴としては、昨年度に引き続いて即就農者が10名を超え12名になったことです。これは、平成30年度入試から農業後継者を対象とした特別推薦入学枠を設けて、農業後継者の確保に取り組んできた結果と言えます。また、国立4年制大学への編入学が好調で、岐阜大学と帯広畜産大学へ合わせて3名が合格しました。

表-1 令和2年度農学科卒業生の進路

進路先	人数	割合
卒業後すぐに自営就農（親元就農）	12名	13%
農業法人等への就職就農	17名	19%
企業等に就職（JA、農業関連、その他企業等）	44名	49%
うち一時就職後に就農予定	10名	11%
国内外での研修	4名	4%
専門学校等に進学	4名	4%
その他	8名	9%
合計	89名	100%

一方、就職先としては、JAあいち経済連や県内外のJA、専門農協へ10名が就職を決めています。また、難関と言われている愛知県農林業高校実習助手の合格者も出ました。4年制大学の学生にも人気が高いJA関係への就職はかなりの難関で、エントリーシートや学校で行う模擬面接会へ参加する等の試験対策に取り組み、就職活動に努力してきた学生達が見事に内定を勝ち取ったと言えます。

農業法人への就職では、水田作が6名と最も多く、酪農をはじめとする畜産関係にも多くの就職者がありました。農業関連会社では、農業機械の販売会社やホームセンター、青果市場関係の会社等への就職が好調でした。

卒業生には、それぞれ仕事の中身は違っても、本校で学んだという自負心を持って本県の今後の農業を支える若い力となってくれることを期待しています。

（農学科 横井 信之）

## 全国農業大学校等プロジェクト発表会 ・意見発表会で最優秀賞を受賞しました

全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会の審査結果が2月24日（水）に発表され、意見発表で参加した中村彩乃さん（養豚・養鶏専攻1年）が最優秀賞（農林水産省経営局長賞）を受賞しました。これは、全国にある農業教育機関47校のトップに立ったことで、当校にとっても非常に名誉なことです。



〔喜びの中村彩乃さん〕

本年度は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、作成した発表動画と発表要旨による審査となりました。

中村さんは発表課題「豚の教え」の中で、高校、農大及び派遣研修先での実習を通して豚を育てることの厳しさを知ったこと、命と向き合うことの意味を理解できたこと、豚は命の大切さや私の未熟さ、選択することの厳しさなどたくさんのお話を教えてくれることを語りかけました。この発表動画は全国農業大学校協議会ホームページで視聴することができます。

(<http://www.noudaikyo.jp/report/r2/report-movie.html#nakamura>)

（農学科 野田 輝夫）

## 令和3年度の就職活動開始 第1回合同就職相談会を開催

1年生の就職活動が始まり、令和4年度求人第1回合同就職相談会を開催しました。本年度も業種ごとに3日間に開催日を分け、初日の2月25日(木)がJA等の農業団体及び農業関連会社、2日目の2月26日(金)が水田作や園芸関係の農業法人、3日目の3月9日(火)が畜産関係の農業法人として開催しました。

畜産関係の法人への就職は、高い専門知識と技術が必要になることから野菜や水稻の栽培を学んだ学生が選択する可能性は低く、開催日を分けることでどちらの学生も関心がある仕事の話の話を効率よく聞くことができます。

今回は3日間合わせて51社に御参加していただきました。また、学生は就職や一時就職を考えている94名が出席しました。



〔全体説明会での参加会社からの概要説明〕

日程は、最初に全体説明会として中央教育棟の大講義室で参加各社から事業内容や会社の特徴、求める人材等について説明を受けました。その後、会社ごとの個別説明会に分かれ、具体的な業務の内容や就業条件等について詳しい説明を受けました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全体説明会は参加会社に自社の説明時間だけ入室してもらう対応を取りました。

個別説明会は3巡目まであり、1巡目と2巡目は求人票を見てあらかじめ申し込んだ会社、3巡目は全体説明会を聞いて興味を持った会社を巡りました。



〔個別説明会で会社の説明を熱心に聴く学生〕

全体説明会で多くの採用担当者が口にしたのは、自社の売り込みとともに「元気がよく、チャレンジ精神がある学生に来て欲しい」という趣旨のことばでした。

「学生やアルバイトと違って仕事は厳しい世界」ということは何となくわかっているとしても、実際に話を聞いて気持ちが引き締まったものと思います。あわせて、会社の採用担当者顔と顔を合わせることも学生にとって初めての経験です。いつもと違いかなり緊張した様子で真剣に話を聞き質問をする姿が印象的でした。

これを機に、永く働き続けられる自分に合った就職先をぜひ見つけて欲しいと思います。

(農学科 横井 信之)

## 令和2年度ニューファーマーズ 研修生13名が修了

3月1日(月)に令和2年度ニューファーマーズ研修のプロジェクト発表会と閉講式を開催し、13名が研修を無事に修了しました。

発表会では、各々のほ場で実施したプロジェクト活動の結果と、今後の営農目標を発表しました。皆さん、就農に対する強い決意が感じられる素晴らしい内容でした。



〔発表会の様子〕

また、閉講式後には、研修受講後の感想や研修の改善点について意見交換会を行いました。研修生からは、幅広く専門以外の基礎知識を得ることができ、今後の経営の参考になった、経営に関する講義をもう少し詳しく聞きたかった等の声が聞かれました。



〔研修修了生と関係職員〕

研修生は、研修終了後、各地域で就農し農業者の皆様の新たな仲間となります。引き続き、御指導、御支援をよろしくお願いいたします。

なお、来年度もニューファーマーズ研修は引き続き開講予定です。令和3年度も意欲ある研修生が多数集まることを期待しております。

(就農支援科 河野 真砂子)

## 雇用創出農業研修生 18名が約10か月の研修を修了

新たに農業を始めたい社会人向けの職業訓練である雇用創出農業研修（愛知県雇用セーフティネット対策訓練農業科）の閉講式が3月12日（金）に農大で行われ、研修生18名が修了しました。研修生は延べ160日間（合計954時間）、農大ほ場における実習や講義等による訓練を受け、農業に関する基礎的な技術・知識を習得しました。

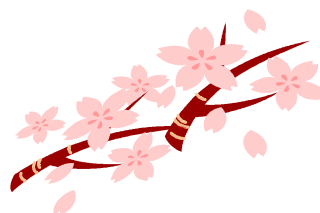
3月11日（木）には卒論発表会が開かれ、研修の成果や今後の就農への決意、経営方針等について発表しました。積極的ながらも、堅実な計画を発表する研修生も見られ、就農に対する熱意を感じる発表会となりました。



〔謝辞を述べる研修生代表〕

研修生は修了後、独立自営就農する人、農業関連法人に就職する人など様々です。各地域の皆様の新たな仲間となりますので、今後とも御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

(就農支援科 水野 秀美)



## 農大からのお知らせ

### ◇新型コロナウイルス感染防止の ためのお願い◇

校内における新型コロナウイルス感染防止の徹底を図るため、3つの密を避け、マスクの着用、手洗い・手指消毒を励行するなど、学生や研修生、職員への感染防止対策に取り組んでいます。来校される皆様の御理解と御協力をお願いします。

なお、行事等については、新型コロナウイルス感染症の状況により、延期もしくは中止となる場合があります。その際は、農業大学校ホームページ等でお知らせします。

### ◇令和3年度入学式◇

農学科の令和3年度入学式を次のとおり開催します。

- ・期 日：令和3年4月9日(金)  
午前10時から
- ・場 所：中央教育棟3階 大講義室
- ・問合せ先：学務科（伊藤）0564-51-1602

### ◇生産物実習販売ごよみ◇

令和3年4月の生産物実習販売についてお知らせします。

- ・販売日：4月7日、14日、21日、28日  
(祝日を除く毎週水曜日です。)
- ・時 間：午後3時から
- ・場 所：農業大学校体育館他  
※なお、袋入り堆肥は、第2機械庫前で販売します。(毎月第2水曜日)
- ・問合せ先：農学科(山本) 0564-51-1673

### 校内で家畜伝染病防疫対策実施中

農大では、鳥インフルエンザや豚熱など、家畜伝染病防疫対策を以下のとおり実施中です。来校される皆様の御理解と御協力をお願いします。

- 畜舎のある衛生管理区域への関係者以外の立入禁止
- 農大内の主要な通行ポイントに消毒用の消石灰を散布
- 関係車両等の消毒の徹底  
(車両消毒槽、動力噴霧器)
- その他、諸防疫対策を実施

### ◇農業大学校の公式 SNS の アカウントを開設 !! ◇

農業大学校の公式 SNS として Twitter、Instagram のアカウントを開設しました。

ユーザーネームは「aichinoudai」です。

学校行事や専攻学習・実習販売の情報等、日々の活動を投稿していきますので、是非御覧ください。

- ・問合せ先：農学科（古川）0564-51-1673